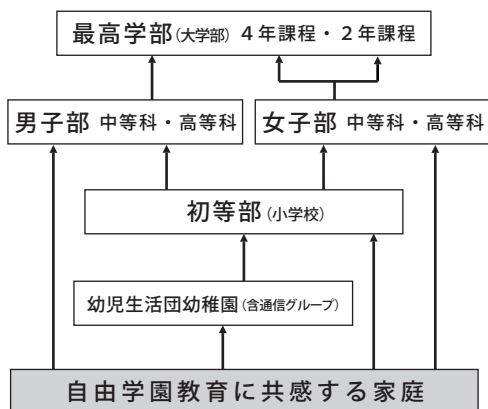


一貫教育体系



自由学園の幼児教育

その生活からよき頭脳をつくる
 その生活からよき人情をつくる
 その生活からよき手腕をつくる
 その生活からよき健康をつくる
 その生活からよき国民をつくる

1938年、「幼児生活展覧会」が開催されたときに掲げられたモットー。その翌年、幼児生活団が創設され、現在も幼児生活団幼稚園として活動している。

自分のことは自分でできるように生活の基礎を身につけ、音楽や美術、体操をすること、動植物の世話をして育てることなど、全てが生活に含まれると考えている。

最高学部が創設されて、幼児生活団から最高学部までという現在の一貫教育体系が整ってから5年後にあたる1956年2月号の『婦人之友』の「自由学園 生徒募集」には、次のように書かれている。

幼児生活団

学齢前三年間の大切な幼児時代に、子供自らい生活の習慣を身につけ、心身共に健康に成長するよう、母親との協力による幼児教育機関。
 いわゆる幼稚園とは異なつて、一週一回集まつて生活その他を指導する。(注1)

初等部(小学校) 最高学部に至るまでの一貫した人間教育は、まず初等部生活よりはじめられる。「ヨクミル・ヨクキク・ヨクスル」学園教育の第一段階に、健康でしっかりしたよい子供の入ってくることを待ち望む。

普通科(中学校) (注2) 小学校における読み書きそろばん(Reading Writing Mathematics)の基本的学習能力を完成すると共に、最善のしつけを身につけさせるために、一日二十四時間のあらゆる生活事実が教育の機会として用いられる。普通科三年間は事情のゆるす限り寮舎生活が要望される所以である。

高等科(高等学校) 人生一生の志向は青年期において決定される。この重大なる時期において、より高き理想の目標と、更に高度の学問的能力への開発練磨に重点をおく。特に女子部にありては、すぐれた良識ならびに情操の涵養、心身両面にわたる生活力の鍛錬に深き注意が払われる。本学園の最高学部には、本学園高等科の過程を経ることが条件とされる。

最高学部(大学) 人間教育の完成を期する自由学園の最高教育機関。新制大学の規準によらず、独自の構想によつて大学教育を行なう。基督教精神にもとづき、学問と生活をとおして、国家・社会ならびに家庭のすぐれた形成者・指導者として必要な叡智・能力および品性を養うことを教育の目標とする。

(注1) 2007年度より幼児生活団は5日制の幼稚園になっている。

(注2) 現在の中等科